地方創生推進交付金等実績

No.	交付金対象事業名	事業概要	事業内容	事業費（円）	交付対象経費（円）	重要事業評価指標		
						評価指標	目標値	実績値
1	道の駅「くるくるなると」における交流拠点施設整備事業	**〈地方創生拠点整備交付金事業〉** 神戸淡路自動車道、徳島自動車道、高松自動車道の３つのICに近接し、１日当たり約４万台の交通量のある国道11号沿いという「好立地の場所」に交流拠点施設を整備し、道の駅として登録する。こうした取り組みを通じて外部からの誘客を促進させ、地域の消費拡大を促し、地域活性化を促進する。 また、本施設が「食のテーマパーク」として、若い世代や女性に訴求することも念頭に置いたオリジナル商品の開発と豊富な品揃えを行うことで、来訪者自身がSNS等で自然と自慢や共有したくなる話題性を複層的に提供し、若い世代等の本施設への目的地化の実現に繋げ、「まち」の賑わいを創出し、まちの魅力度向上を図る。	①令和３年度に施設の建築工事に着手し、物産館、産直レストラン、カフェ、パン売り場、キッズルーム、体験交流研修室、情報発信施設等の整備を完了し、令和４年４月２９日に開駅した。	998,337,561	998,337,561	①本施設の売上額 ②本施設の新聞・メディアへの掲載件数 ③「地域ブランド調査」（ブランド総合研究所公表）の産品購入意欲度調査における「あなたは以下の地域において購入したい商品はありますか？」という問いに対する「具体的にある」と回答した回答者の割合	－	－
2	世界最大級『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業	**〈地方創生推進交付金事業〉** 世界最大級の『鳴門の渦潮』を核とした観光エリアのブランディングを行い、これまで通過型の観光地であった鳴門・南あわじ両市において、若者や外国人観光客の誘客増加を図るとともに、長期滞在型の観光を誘発させることにより、観光消費額、ひいては宿泊単価率を上昇させる。また地域の観光事業者とともに商品開発を行い、稼ぐ仕組みを作り出すことにより、持続可能な地域づくりを目指す。	①「うずしお地域観光ブランディング事業広域連携計画」（令和３年度～５年度）を策定した。 ②旅行チャネルやSNS等を活用したプロモーション、ホームページ制作を行った。 ③飲食店や宿泊施設など25の事業者と連携し、新ご当地グルメ「うずの幸グルメ」を開発した。 ④観光関連事業者を対象として、SNSを活用した情報発信や宿泊プラン造成等の研修会を開催した。	22,792,935	22,792,935	①両市が新たに作成・造成を行った商品・サービスの売上高 ②両市の宿泊施設における宿泊単価上昇率	① － ② －	① － ② －
3	イーストとくしまDMOニューツーリズム推進による新たな事業創出による地域活性化の実現	**〈地方創生推進交付金事業〉** 徳島県東部地域１５市町村及び民間事業者が連携し、圏域外からの「外貨」の獲得と地域住民の活躍の場を創出できる“観光”を経済施策として捉え、観光コンテンツを魅力あるビジネスに成長させ、旅行者等による交流人口の拡大を図ることで、「訪れてよし」「住んでよし」の観光地域づくりを推進し、圏域経済を好循環させる仕組みを構築することにより、自立的で持続可能な観光地域づくりを目指す。	①１自治体では対応できない課題解決や旅行者・住民のニーズを満たすための体制整備のほか、地域のフラッグシップとなるコンテンツ（東徳島トレイル開発、 ウォーターウェイツーリズム開発）、域内周遊を促進するためのショーケースの役割を果たし滞在時間の延伸を目的としたコンテンツ（ナイトタイムツーリズム）、１５市町村の域内周遊及び旅行者を新たな収益とした新規事業を推進するコンテンツ（クラフト＆フードツーリズム）の磨き上げを行い、情報発信や販売促進を行った。 ②開発したコンテンツを活用した新規ビジネスを実施するための創業人材育成や地域の魅力を再発見し、住民満足度を高めるためのシビックプライド醸成を行った。	1,797,080	1,797,080	①徳島東部圏域の延べ宿泊者数 ②徳島東部圏域ひとり当たり観光消費額 ③徳島東部圏域の来訪者満足度 ④徳島東部圏域の住民満足度	①35万人増 ②4千円増 ③0.5%増 ④－	①2.8万人増 ②増加なし ③3.3%増 ④－